

京都に根ざす「伝統と文化」を体感し、関心を深める授業づくりに向けて

○本研究での「伝統と文化」のとらえ

伝統…ある集団社会において、歴史的に形成蓄積され、世代をこえて受け継がれた精神的文化遺産や慣習
文化…学問・道徳・芸術など、主として精神的活動から生み出されたもの

○体感することで付けたい力や態度

「体感する」という言葉について、ここでは、「教育活動の中で、みたり、きいたり、よんだり、ふれたり、感じたり、親しんだりすること」と定義します。

そして、京都に根ざす「伝統と文化」を体感することによって、次のような効果が期待できると考えています。

○京都の「伝統と文化」の歴史的な意味や内容、それに携わってきた人のおもいや願いなどを理解できる。

○京都や地域を好きになったり、誇りをもったりできる。

また、「京都に根ざす『伝統と文化』を体感することで付けたい力や態度」の「付けたい力や態度」についてですが、子どもの学びの過程をイメージすると「伝統と文化」というものは、最初からみえているものではなく、「文化」との出会いから、「文化」をみる目を持ち、歴史的に積み重ねられた「文化」が伝統であるということに気付き、「伝統と文化」を大切にすることを心がけると考えます。図1は、それを示したものです。

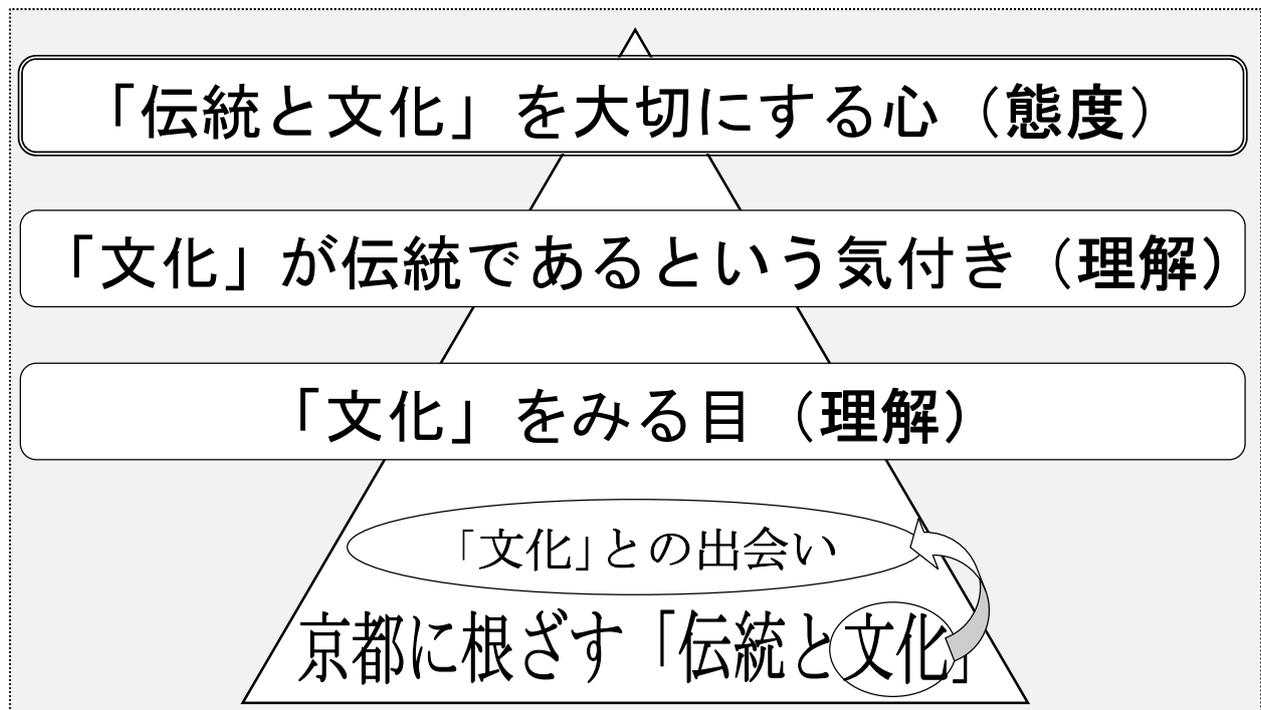


図1 京都に根ざす「伝統と文化」を体感することで付けたい力や態度